

標 題 : Mediterranean Diet Score: Associations with Metabolic Products of
the Intestinal Microbiome, Carotid Plaque Burden, and Renal Function.
地中海食事スコア : 腸内微生物叢の代謝産物、頸動脈プラーク負荷と
腎機能との関連

著 者 : M. Pignanelli, et al. (カナダ Schulich 医科歯科大学 M.D. Candidate
(CIHR Summer Research Training Program))

掲 載 誌 : Nutrients. 2018 Jun 16; 10(6) pii: E779

要 旨 :

トリメチルアミン N-オキシド(TMAO)などの腸内微生物叢の代謝産物は腎不全に蓄積して(腸由来の尿毒素、GDUTs)アテローム性動脈硬化および心臓血管系リスクの増大に影響する。

地中海食事を摂取している患者および食事性前駆物質を低い量で摂取している患者は腸由来の尿毒素の値が低いであろうと、我々は仮説を立てた。

血管予防クリニックに通院する患者がハーバード食品頻度アンケート(FFQ)を完了し、そして TMAO、硫酸 p-クレシル、馬尿酸、インドキシル硫酸、p-クレシル グルクロニド、フェニルアセチルグルタミン、およびフェニル硫酸の血漿値を高速液体クロマトグラフィーと四重極飛行時間型質量分析計を組合せて測定した。

頸動脈プラーク負荷を超音波で測定した ; CKD-Epi 式を使用して糸球体濾過量を推計した。

合計 276 人の患者が研究を完了した。

中程度の腎機能でも血漿の腸由来の尿毒素を有意に高め、それは高い頸動脈プラーク負荷と有意に関連した。

地中海食事スコアとも食事性前駆物質の摂取とも関連する、腸由来の尿毒素の血漿値の有意な差は無かった。

血管疾患のある雑食性の患者で、腸の代謝産物の食事性前駆物質の摂取も地中海食事の順守も、血漿の腸由来の尿毒素を変化させなかった。

食事以外の方法、プロバイオティクス(体に良い微生物)および腸内微生物叢の再増殖などが、腸由来の尿毒素の悪影響を軽減するのに必要であろう。

キーワード : 地中海食事、TMAO(トリメチルアミン N-オキシド)、頸動脈プラーク、
腸内微生物叢、代謝産物、腎機能
